

令和6年11月1日

事業報告

講座名	山口ひとものがたりセミナー第2回（下関市綾羅木郷遺跡の人面土製品から紐解く弥生文化） （講師：小林 善也 氏）
日時・場所	令和6年10月19日（土）10:30～12:00 101研修室
参加者数	63名

1 概要

講師： 小林 善也 氏（下関市立考古博物館 主任）

演題：「下関市綾羅木郷遺跡の人面土製品から紐解く弥生文化」

講師の小林氏は、専門は日本考古学で、特に弥生時代や古墳時代を研究されている。昨年山口県立山口博物館で開催された、「特別展やまぐち大考古博」では、下関にゆかりのある出土品に関する解説文などを担当された。

今回のセミナーでは、下関市綾羅木郷遺跡発見の経緯から、人面土製品を始めとする出土した遺物、またその遺物から紐解くことのできる風習、また北部九州や朝鮮半島などとの交流の可能性等に渡り、多くの資料を示しながら説明された。時間内では足りない程の多くのことを教えていただき、実際に綾羅木郷遺跡に足を運び、出土品を見てみたくなる、大変興味深いお話だった。

2 写真

